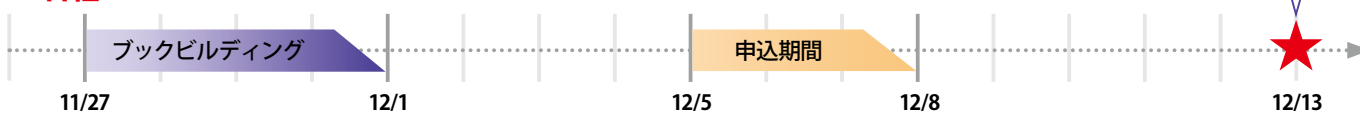


## IPO銘柄 ヴィスコ・テクノロジーズ (6698・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6698	100株	公募: 8.50万株 売出: 11.38万株 (OA2.98万株)	4,720円~4,920円 (15.0倍)	みずほ証券

### ■ 日程



## 筐体型の画像処理装置を手掛けるファブレスメーカー

### ■ 事業内容

筐体（きょうたい）型の画像処理装置を手掛けるファブレスメーカー。電子部品や半導体、自動車、食品業界などの製造現場で使用。特にコネクタメーカー向けが多い。画像処理装置の製造にあたっては、検査装置を構成するモジュールの製造を部品製造会社に委託、またはモジュール部品を購入した上で組み立て、オペレーティングシステムと自社開発の画像処理ソフトのセットアップを委託している。特許を取得済みの超深度カメラを用いた全立方体検査装置など、技術力の高さが強み。画像処理検査装置事業の単一業態。

### ■ 特徴

カメラ、レンズ、照明などで構成され、検査対象物や検査内容、検査条件、処理速度、設置条件など顧客の検査ニーズに応じた最適なシステムの提案とアドバイスを行っている。特許を取得済みの、超深度カメラを用いた全立方体検査装置は、検査面に対して斜め方向からの撮影でも検面全体に焦点が合うため、全方位からの撮影を行うことができる。この他、人間の視覚と同じひび割れを形として認識して検出する技術や、一度の撮像で複数面検査を可能とするなど、様々な技術を有している。

## アナリストコメント

### ■ 定量分析

18年3月期の連結経常利益は、前期比14.0%増の3億800万円を計画する。電子部品業界ではスマートフォンメーカーの新製品向けの設備投資が活発で、自動車の搭載電子部品の増加にも恩恵を受けている。今期は新製品投入の効果も寄与している。

### ■ 定性分析

スマホ向け、自動車向けの電子部品需要増に恩恵を受けており、成長イメージは強い。一方で12月のIPOマーケットは案件が集中しており、ヴィスコ・テクノロジーズは目玉のSGホールディングスなど同日上場のスケジュール。注目度は相対的に低下してしまいそうだ。

### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は11億円程度。荷もたれ感のない規模だが、ベンチャーキャピタル保有株が存在することから、数字ほどの軽量感はない。大型のSGHDを含む4社同日上場の中の一つということで、初値買い資金の分散も懸念される。（小泉健太）

### ■ 類似企業

ヴィスコ・テクノロジーズ (6698・JASDAQ)	予想PER15.0倍 (仮条件上限)
ウインテスト (6721・東証2部)	予想PER —
インスペック (6656・東証2部)	予想PER26.8倍

### ■ 引受証券

みずほ証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、岡三証券、いちよし証券、SBI証券、岩井コスモ証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
16年3月期(実績)	2,579	—	197	—	133	—	212.7	—
17年3月期(実績)	2,878	11.6	270	36.7	202	51.6	322.4	—
18年3月期(会社予想)	3,101	7.7	308	14.0	214	5.6	327.3	未定

※ 16年3月期より連結決算。16年11月に株式分割(1株→500株)を実施。16年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
16年3月期	1,257	2,340	885	187	1,370.1	36.8	17.1
17年3月期	628,500	2,505	1,119	187	1,727.1	43.3	20.8

※ 16年3月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1 足立 秀之	222,000	31.87
2 有沢製作所	65,000	9.33
3 東 正志	63,000	9.05
4 三菱UFJキャピタル3号投資事業有 限責任組合無限責任組合員三菱UFJ キャピタル	50,000	7.18
5 滝沢 義信	35,000	5.02
6 鈴木 保良	29,500	4.24
7 GOLDEN ASIA FUND L.P.GOLDEN ASIA FUND VENTURES LTD.	26,500	3.80
8 池田 欣吾	24,500	3.52
9 DBJキャピタル投資事業有限責任組 合無限責任組合員DBJキャピタル	20,000	2.87
9 ニッセイ・キャピタル5号投資事業有 限責任組合無限責任組合員ニッセ イ・キャピタル	20,000	2.87
9 日本政策金融公庫	20,000	2.87

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	足立 秀之
取締役副社長(管理本部長)	滝沢 義信
取締役(営業本部長)	池田 欣吾
取締役(CS本部長)	東 正志
取締役(開発技術本部長)	鈴木 保良
取締役	鈴木 健二
常勤監査役	竹内 浄
監査役	阪本 俊幸
監査役	橋本 裕幸

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。